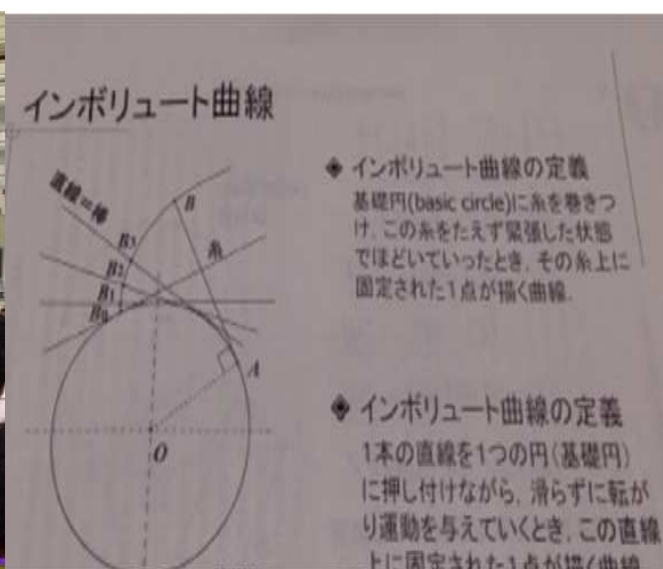


## 企業研修（菊地歯車株式会社）

平成26年6月11日(水)2学年国際数理コース(37名)を対象に、菊地歯車株式会社(足利市福新町)にて企業研修が行われました。2学年では切磋琢磨プログラムに沿って、「ときめき、まなぶ人」の育成を目指しています。企業訪問を通して、最先端の科学技術に関する理解を深め、普段の学習が生産現場で実際に活用されていることを知り、科学技術に関する興味関心の向上を目的として実施しました。

本社工場会議室にて、菊地歯車株式会社 取締役 小林勝道様より会社概要の説明及び、歯車に使われる数式についての講義を頂きました。生徒たちは三角関数(インボリュート曲線)が歯車の設計に大きな関わりをもっていることに驚いた様子でした。また、日常生活の様々な所で歯車が使われていることに奥深さを感じました。その後、2班に分かれ丁寧な説明を受けながら、工場見学(本社および第6工場)を行いました。生徒たちは、最新機器によって削られる歯車の様子に興味をもっていました。



### 生徒の感想

- ・ 学校で学ぶ数学や物理が社会で多く関わっていることを知り、良い機会になった。
- ・ 地元の工場が飛行機などの部品を作っていることに驚いた。
- ・ 小さくても重要な部品を作っていることに、とてもすごい仕事をしていると思った。
- ・ 歯車にも数学の理論が応用されていることが分かり、ますます科学技術に関する興味が深まった。
- ・ 学校で習ったことが社会で生きることがわかった。
- ・ 歯車ひとつを作るのに複雑な数学や物理、最新の機器が関わっていることに驚いた。
- ・ ボーイング787の部品を作っていることに驚いた。
- ・ これからも素晴らしい歯車を足利から生み出して欲しい。
- ・ 今勉強していることが歯車の設計に使われていることを知り、もっと普段の勉強を頑張ろうと思った。歯車一つに奥深さを感じた。
- ・ 最先端の工場を見ることができてよかった。
- ・ 飛行機や車にも歯車が使われており、重要な役割を果たしていることを知った。
- ・ 身近な自動車のミッションで使われている歯車に高度な数学が用いられていることを知った。

## 足利学校研修

平成26年6月12日（木）および19日（木）に1年生201名を対象に足利学校および鏝阿寺にて史跡研修が行われました。本校SSH事業は、「身の回りの自然、さらに地域や先人達から受け継がれた文化を知ることから始まる」というコンセプトを持っています。その意味で、「日本最古の学校」とされる足利学校、平成25年に国宝指定された本堂をはじめとする多くの重要文化財を持つ鏝阿寺は、世界に誇ることができる身近な史跡であると思います。

太平記館駐車場に集合後、足利市観光協会案内人様の案内により生徒は足利学校と鏝阿寺を見学しました。足利学校では、かなふり松の由来や孔子の中庸を表す「宥坐乃器」などから学ぶ姿勢を感じ、鏝阿寺では、足利氏の由来など足利市の歴史を学んでいました。生徒は、足利市観光協会案内人の方々の説明を興味深く聞いており、足利の大先輩との交流の場という意味でも有意義な研修となりました。



太平記館駐車場に集合後、足利市観光協会案内人様の案内により生徒は足利学校と鏝阿寺を見学しました。足利学校では、かなふり松の由来や孔子の中庸を表す「宥坐乃器」などから学ぶ姿勢を感じ、鏝阿寺では、足利氏の由来など足利市の歴史を学んでいました。生徒は、足利市観光協会案内人の方々の説明を興味深く聞いており、足利の大先輩との交流の場という意味でも有意義な研修となりました。



### 生徒の感想

- ・ 足利学校の歴史や伝統などを学べたのでよかった。孔子の話が印象に残った。
- ・ 足利学校を見学し、歴史を理解することができた。足利学校で生徒が3000人学んでいたことに驚いた。
- ・ 身近なところで重要な歴史を体験でき興味深かった。
- ・ 足利学校の歴史を再認識することができた。説明がとてもわかりやすく深く知ることができた。
- ・ 誰が、どのような目的で、どうやって運営していたのかが気になった。
- ・ 人生で4度目の説明を受けた。歴史をやっと理解することができた。
- ・ 世界的にも貴重な建物が身近にあることを再度誇りに思った。
- ・ 小中学校で何回も行ったことがあったが、その時よりも深い内容を知ることができた。
- ・ 当時の足利学校に全国から人が集まってくることに驚いた。